

平成 26 年 度
市 民 講 演 会
ご 案 内

講師の 加藤 正 人先生は能代市出身の脚本家。

1984年脚本家としてデビュー、日本シナリオ作家協会入会。1999年、NHKドラマ「水の中の八月」にてモンス国際映画祭最優秀脚本賞受賞。2001年、映画、「女学生の友」(東宝)にて菊島隆三賞受賞。現在、日本シナリオ作家協会常務理事、日本映画学校専任講師。現在、東京都品川区に在住。

このたび当医師会では、加藤先生をお招きし、市民講演会を企画致しました。大変興味深いお話が伺えると思われまますので、皆様お誘い合わせの上、御参加下さい。どなたでもご自由に御参加できます(入場無料)。

日 時 平成 26年 8月23日 (土) 午後 2時 00分～

場 所 キャッスルホテル能代 2階 万葉の間
能代市元町 TEL 55-1111

講 演 『 映画の面白さとは何か? 』

講 師 脚本家 加 藤 正 人 先生

主 催 一般社団法人 能代市山本郡医師会

〒016-0151 能代市檜山字新田沢 105 (一社)能代市山本郡医師会 TEL 0185-58-2581